

茨城県立那珂高等学校 第1学年*組 「道徳」学習指導案

		指導者	高柳 優子
主題名	思いやりとは	内容項目	2-(2)
ねらい	これまでの自分の行動を振り返り、相手の立場に立ってものごとを考え、思いやりの心を持って他者と関わっていかうとする心情を育てる。		
資料名	「学習机」(作成委員会編)		
主題設定の理由	思いやりの心は、互いの立場を尊重しながら、親切にし、いたわり、励ます生き方として現れる心の在り方であるが、時には、黙って温かく見守るといった表に現れない場合もある。日頃の生徒の行動を見ていると、その場を取繕う表面的な優しさで行動しているのではないかと感じられる場面が多く見受けられる。本資料から思いやりのない行為をとった主人公の心の動きを考えさせることにより、思いやりの心をもって人に接することの大切さに気付かせたいと考え、本主題を設定した。		
展 開			
	学習活動(発問・予想される生徒の心の動き)	指導上の留意点	
導入	<p>1 生活の中で、相手の立場になって考えるべきだったと後悔した場面を考える。</p> <p>○今までの人生で、もっと相手のことを考えればよかったと後悔したことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や友達を傷つける言葉を言ったとき ・お節介をやいてしまったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験を振り返ることで、関心を高める。 	
展開	<p>1 資料を読む。</p> <p>2 主人公「私」の心について話し合う。</p> <p>○「私」にとって、学習机を売ることはどういうことだったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事として事務的にこなすことだった。 ・頭では夢を与えることと分かっているが、実感を伴っていない。 <p>◎大枝さんに「そういう問題じゃないのよ」と言われて、「私」はどんなことに気付いたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傲慢な気持ちだった。 ・相手の立場に立って、考えていなかった。 <p>3 相手の立場になって考えることについて、個人で考えた後、グループによる話し合いにより、考えを深める。</p> <p>○相手の立場になって考えるとはどういうことなのだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを大切にすること。 ・心をこめて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習机を販売する「私」の心に焦点を当てて考えさせる。 ・個人の考えを自分の言葉で具体的にワークシートに表現するよう、指示する。 ・学習机を売ることが夢を与えることであることが分かっていない「私」の気持ちを考えさせる。 ・大枝さんの言葉を聞いた「私」の気持ちから、相手の立場に立って考えることの意味に気づかせたい。 ・自分の言葉で、具体的な例を挙げながら相手に伝えること、自分と違う意見も否定しないことを指示する。 	
終末	<p>4 教師の体験に基づく説話を聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりには様々な形があり、一見厳しいと思える行為が実は相手を思いやったの行動である場合もあることを話すことで、思いやりについて深めたい。 	
評価	<p>○思いやりについて考えることができているか。</p> <p>○他の人に対する深い理解と共感する心について自覚を深められているか。</p>		

「学習机」

1年__組__番 氏名_____

問1 今までの人生で、もっと相手のことを考えればよかったと後悔したことはありますか。

問2 「私」にとって、学習机を売ることはどういうことだったのだろうか。

問3 大枝さんに「そういう問題じゃないのよ」と言われて、「私」はどんなことに気付いたのだろうか。

問4 相手の立場になって考えるとはどういうことなのだと思いますか。

【個人】

【グループ】